

バルブ

アンクランプディレイバルブ

アンクランプ時における一時固定部品

- 単動式装置のアンクランプ時間を遅らせる事ができます。複動式と単動式の両方のシステムで使用可能です。
- ワークサポート上にあるパーツをアンクランプする際にバックプレッシャーによる動きをなくします。
- ノーマルオープンバルブの為、対象物をクランプするまでの間、流体はバルブを自由に流れます。
- バルブを開く為のBラインは必要ありません。
- 高い耐食性を持つステンレスを内部部品に使用。

アンクランプディレイバルブ

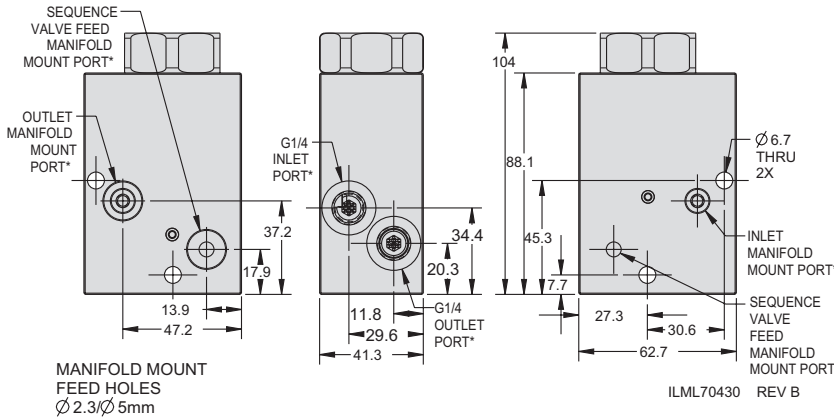
Model No.*	L7-0431-00
Set Pressure Range**	2 to 10 MPa
Time Delay Preset*** (sec)	3 to 7 seconds Using ISO 32 Fluid
Filtration Included	25 micron All Ports
Max Flow	11.4 l/min
Crossover plate, L9-3197-00, needed when using as a standalone manifold mount valve.	

- * マニホールド用 O-リングは含まれています。配送時には全てのポートはふさがれています。
- ** 最大注入圧力は 10Mpa。過剰圧での使用は保証の対象外となります。
- *** 遅延の持続期間はクランプシステム内のオイルの粘度によって変わる可能性があります。より長い時間の遅延が必要な場合には VEKTEK 社のカスタマーサポートチームまでご相談ください

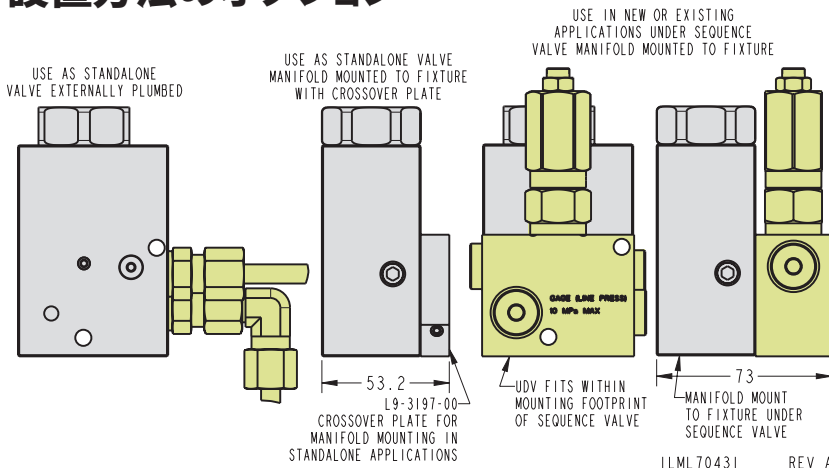


U.S. 特許 9,683,669

○動作: Vekttekアンクランプディレイバルブは油圧クランプシステムの中でノーマルオープンエレメントとして作動いたします。低圧の流体がバルブを通して下流装置へ流れます。システム内の圧力が上がるにつれてパイロットピストンはチェックバルブから移動して、チェックバルブは閉じます。最大システム圧力に達するとシステムの流れは停止します。もし圧力が下流装置にて漏れた場合、チェックバルブは再度開き、再加圧されます。アンクランプの間、入力圧力はメイン圧力と共に下がります。しかし、下流装置の圧力はチェックバルブによって保持されます。低い入力圧力では流量調整とオイルの粘度によって決められる速度にてバネの力がパイロットをチェックバルブへ押し込みます。パイロットピストンはそのストローク内を進み、チェックバルブに当たります。バネの力はチェックバルブを開き全ての下流の圧力を油圧装置のタンクへ放ちます。



設置方法のオプション



適切な密封性を得るために、シール接合面の平面度は 0.08 mm 未満、最大表面粗さは 1.6 μm R_a である必要があります。